

第三セクター等状況公開表

作成年月日： 令和8年9月9日
所管部課： 商工観光部 商工振興課

1 法人の概要 (令和8年4月1日現在)

名 称	公益財団法人岩手県南技術研究センター	役員構成	理事長 1名、副理事長 1名、所長 1名、理事 2名、監事 2名、評議員 5名 計 12名
所 在 地	一関市萩荘字高梨南方114番地 1		
設立年月日	平成7年7月6日	職員数	6名(派遣1名、プロパー5名)
代 表 者	理事長 佐藤 善仁		

2 基金 (令和8年4月1日現在)

項目	金額及び割合	出資の内訳
基金総額	93,220千円	一関市 79,120千円 (84.9%)
うち一関市の出資額	79,120千円	平泉町 2,100千円 (2.2%)
うち一関市の出資割合	84.9%	その他企業等 12,000千円 (12.9%)

3 事業の内容

個別事業
(1) 研究開発事業：①技術相談、②試験・分析受託事業、③共同・受託研究開発事業、④一関市研究開発プラザの管理運営 ほか
(2) ものづくり人材育成事業：①ものづくり分野の人材育成、②自主事業、③科学体験事業 ほか
(3) 地域連携事業：①産学官イブニング研究交流会、②地域企業情報ガイダンス、③企業情報交換会、④地域内発型産業の振興 ほか
(4) 情報提供促進事業：①県南技研だよりの発行、②ホームページ等の活用 ほか

4 財務の内容

貸借対照表から	項目	金額 (千円)			損益計算書から	項目	金額 (千円)		
		R5年度	R6年度	R7年度			R5年度	R6年度	R7年度
	総 資 産	208,803	186,970	216,083		総 収 入 ※	93,310	70,838	70,341
	負 債	2,200	2,786	7,205		経 常 損 益	1,898	▲1,649	▲657
	純 資 産	206,603	184,184	208,878		当 期 損 益	1,898	▲1,842	▲866
	利益剰余金	49,539	47,697	46,810		減価償却前当期損益	24,470	26,640	21,161

※ 総収入＝売上高＋営業外収益＋特別利益

5 役職員の状況

役員数	うち一関市からの出向者数	うち一関市の退職者数	役員平均年齢	役員平均年収(千円)
12	0	1	68	292
職員数	うち一関市からの出向者数	うち一関市の退職者数	職員平均年齢	職員平均年収(千円)
6	0	0	37	5,088

※ 職員は臨時任用職員を除く

6 市による関与の状況

(1) 公的支援 [フロー]

項目	金額 (千円)			備考 (目的・内容・算出根拠等)
	R5年度	R6年度	R7年度	
1 補助金(助成金)	56,068	47,708	47,067	運営費補助金、44,567千円、人材育成事業費補助金 2,500千円
2 利子補給金	0	0	0	
3 税の免除額	0	0	0	
4 その他(負担金)	1,000	935	680	地域企業情報ガイダンス負担金 300千円 企業情報交換会負担金 350千円 キッズサイエンス負担金 30千円
合計	57,068	48,643	47,747	
(参考) 委託料	2,680	2,158	1,470	ものづくり産業振興事業費 1,216千円 農商工連携推進事業費 186千円 I T活用セミナー 68千円

(2) その他 [ストック]

項目	金額 (千円)			備考 (目的・内容・算出根拠等)
	R5年度	R6年度	R7年度	
1 損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
2 貸付金残高	0	0	0	
3 出 資 金	0	0	0	
4 その他 ()	0	0	0	
合計	0	0	0	

7 経営概況

財団の運営を賄う財源として、事業収入、賛助会費及び基金の運用益を充てることとしているが、運営費を賄うまでに至っておらず、財団の基盤確立が課題となっている。

8 所管部課による点検評価等の内容

工業振興、地域企業の技術力の向上を図っていくうえで、人材の育成、地域企業の技術開発等への支援や連携強化が必要であり、この分野における岩手県南技術研究センターが担う役割が大きくなっている。 今後とも、体制の強化や機能の充実について支援していくことが必要であるとともに、岩手県南技術研究センター自らが賛助会員の確保や自主事業の取組等を行うことにより、運営資金の確保に努めるよう促していく。
